



TAKIKAWA ROTARY CLUB

「新しい前進」

会長 三品 優次


今日は 第2899回 例会
プログラム
ロータリーにおける財団
No.2726 11月6日(木)

次週以降の予定
11月13日(木)二世古からnisekoへ
11月20日(木)純国産ウイスキーの誕生と竹鶴政孝の紹介
11月27日(木)ジャズピアノ演奏

第2898回 例会報告

2014年 10月30日(木)


会長挨拶・報告

 本日はガバナー公式訪問例会です。羽部ガバナーにおかれましては大変お忙しい中、又連日に及ぶ各地公式訪問の折、滝川の例会にお越し頂きありがとうございます。今日は羽部ガバナーより直接RIの方針並びに地区の方針についてお話があると思います。ガバナー・ガバナー補佐には午前中より会長・幹事会を行い、その後クラブ協議会を開催し滝川クラブの運営・事業その他多くの事柄についてご指導を頂きました。これからの滝川クラブの活動に生かしてまいりたいと存じます。

報告

10月26日当クラブのスポンサークラブであります旭川RCの創立80周年記念式典と祝賀会開催の案内がありましたので、深 幹事と出席してまいりました。参加人員約230名の会で2510地区から深川クラブ1名、旭川クラブのスポンサークラブ小樽RC2名が出席していました。

幹事報告

 ①芦別RCより11月の例会プログラムが届いております。
②地区よりガバナーエレクト事務所開設のお知らせが届いております。
③来週11月6日(木)は、第11回定例理事会を3階フレスコで開催いたします。1月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を4日までお願いいたします。


先週のプログラム

《理事会担当例会》

ーガバナー公式訪問例会ー



三品 優次 会長


 羽部大仁ガバナーには、何度か滝川にお出でを頂いております。

まず今から20年前、平成6年10月13日の例会に米山奨学生の引率としてお出でいただきました。最近では2年前、平成24年10月4日の例会において「例会の出席が人間形成の鍵」というタイトルで卓話をさせていただきました。

渡 恭久パストガバナーがガバナー補佐をされた


14年前には、当時滝川で開催された分区分協議会において地区幹事として出席され、講演をされております。また、渡 ガバナー年度には札幌幌南クラブの会長を務められました。

武藤ガバナー補佐 挨拶

 武藤 哲雄 ガバナー補佐(赤平RC)
第2グループガバナー補佐を務めております赤平ロータリークラブの武藤です。来年の4月4日IMを行うことになっておりますのでその節はよろしくお願いたします。この後ガバナーの卓話がありますので簡単に紹介させていただきます。

羽部大仁ガバナーは、職業分類、浄土真宗東本願寺派恵林寺住職、1980年7月札幌幌南ロータリークラブ入会、2009年~2010年度会長、2510地区地区幹事、地区クラブ奉仕委員長などを歴任、ロータリー財団メジャードナー、米山功労者マルチプルであります。これまでの公式訪問でお話を聞いてまいりましたが、お寺のご住職でお話が上手でございます。今日の卓話は大変ためになる面白いものになると思います。ロータリーの事を真剣に考えておられるガバナーでございますのでご期待頂ければと思います。

羽部ガバナー 講話・講評

 羽部 大仁 ガバナー(札幌幌南RC)
本年度7月1日からガバナーに就任いたしました、3分の1を経過することになり、滝川RCさんで60クラブ目の公式訪問になります。どこのクラブを訪問しても大変歓迎をいただきます、ガバナーはありがたいものだと思います。皆さんも早くガバナーになってください。滝川RCからは尊敬し敬愛しております、渡 パストガバナーがいらっしゃいますが、お父さんのような方でございますいつも大変お世話になっております。三品会長と私は、同じようなコンセプトで1年間活動しようということで「新しい前進」滝川RCも新しい方向にむけて第一歩を踏み出したのだと思います。今日公式訪問を通じて感じた素晴らしいことの一つは、若い方への移行がスムーズになされているということで、先ほどのクラブ協議会を感じさせていただきました。何年も役員を続けているクラブが多い中でこのクラブは刷新されていますね。例会の席も、たいいていのクラブでは偉い人は前の方にいらっしゃるのに皆さん後ろの方から見守っていらっしゃる。そうした面からも、新しい前進をされている素晴らしいクラブだと思います。

先日、函館の80周年にお邪魔しましたが、函館には石川啄木がちょっといたんですね。啄木は、お母さんのカツさんが39歳の時の子で高齢出産でした。お母さんは啄木を溺愛したようです。禅宗のお寺に生まれたのですが、お父さんが何かで失敗しお寺は移転になってしまい大変苦労したようです。お母さんはこの子のために長生きをしようと思い、牛乳と肉を

絶って子育てをされたようでございます。「たわむれに母を背負いてそのあまり軽さに泣きて三歩歩まず」すばらしい詩だなあとと思います。しかし啄木は大変勝手なところがございまして、じゃんじゃん借金をしてついにそれを払わないでわずか26歳で死んでしまいました。お母さんが亡くなって数か月後のことでした。お母さんが亡くなった時に「かずかずの悲しきことのあるなかに悲しきことにあえるものかわ」と詩っております。世の中にはいろんな悲しいことがあるけれど自分をこんなに育ててくれた母の死はなんと悲しいことだろう、はてまた自分自身が死んでいかねばならないとしたらたして死んでいけるのだろうかという意味だと思います。立待岬にお墓がありますが、死んだら立待岬に埋葬してほしいと啄木は願ったそうであります。本当に勝手な方でございました。

ガバナー月信を皆さんご覧いただいておりますでしょうか。今月は柿を描きました。来月は林檎を描きました。早めにご賞味いただければと思います。とはいっても食べられませんので、記事の方をご覧いただきたいと思います。記事はだんだんお坊さんの話が多くなってありますが、来月も法然上人の順番でございます。ご覧いただければ幸いです。

本年度の地区目標のひとつに、地区史編さんに協力しようと皆さんにお願いしています。これは今から18年前にできた地区史なんです、あとがきに当時編さんにたずさわったスタッフの写真が載っていますが、18年前の私もおります。この中で生存しているのは塚原バスターガバナーと私の2人だけです。ご覧いただきたいと思っております。

本年度は戦略計画について、各クラブにも戦略計画をたてて2年3年5年後を考えながら計画をたてていただくようにお願いしています。地区としては第一番目に、人道的な緊急課題であります「ポリオプラス」ロータリーが四半世紀をかけて取り組んできた課題であります。あと1パーセントくらいになったそうではありますが、紛争国や宗教的な問題があったり、アフガニスタン・ナイジェリア・パキスタンの3か国は周辺の国にまでポリオを蔓延させる状況になっているようでございます。WHOはそれを緊急問題として取り上げております。この件につきましてはロータリーデー等を通じてご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

地区とクラブは大切な関係にあります。地区はクラブをサポートする役割があります。先ほどのクラブ協議会で感じたのですが、滝川RCの運営の素晴らしい点として、各委員会が例会を担当しているということがあります。このことは伝えていきたいと思っております。また、ぜひ地区を活用していただきたいと思っております。

3番目は会員増強のことであります。インターアクト、ローターアクトの卒業生、ローテックス、財団奨学生、財団学友などの人たちを一日も早くロータリーに迎えてほしい、幌南RCにはローターアクトクラブがありまして、今4人ローターアクトの卒業生が会員になっています。35歳までのローターアクトの卒業生には入会金無料、会費を半額にして迎える施策をとっております。そうしたこともヒントにして、若い人たちの入会にも心がけていただければと思っております。

以上3点は戦略計画であります、地区目標の一番目はRIのテーマでもありますが、ロータリーに輝きをみんなで推進しようということでもあります。「ライトアップロータリー」ゲイリー・ホアン会長が、ただ座して暗闇を呪うよりろうそくを灯した方がよいという意味の孔子のことばを引用したテーマであります。今までも輝いていたけれどロータリーは陰徳として

名を名乗らないようなところがありましたので、これからは名乗って輝くことだと思っております。

もう一点は引き続き復興支援に参加しようということです。今回は北海道に避難されている子供さんと親御さんをキッズキャンプに招待する企画で募集いたしました、30人の枠に60人の応募がありました。岩見沢市で行いましたが、大変喜んでいただきました。

ライトアップロータリーを推進するにあたって、ガバナー月信に連 大師、最澄の事を書きましたが、その功績は、若者を育成するために建立されたのが比叡山だったんですね。国費留学生として遣唐船で都につきました。帰国して桓武天皇に上奏したのが山家学生式という書物でありました。その序文を紹介したいと思っております。国の宝とは何か、宝とは道を治めようとする心である、この同心を持って言う人こそ社会にとってなくてはならない国の宝である。だから中国の昔の人は言った、直径3センチの宝石10個、それが宝ではない、社会の一隅にしながら社会を照らす生活をする、その人こそがなくてはならない国宝の人である。一隅を照らすこれすなわち国宝なりと、という名文であります、そのあとに出てくる言葉にロータリーとの因果関係を感じますので紹介したいと思います。いやな事でも自分に引き受けよいは他の人に分かち与える、自分をひとまずおいて他の人のために働くことこそ、本当の慈悲なのである。超我の奉仕のところがロータリーと似ていると感じました。

最後に、滝川RCのますますのご発展と、会員の皆様はロータリーライフを楽しんでご健康で過ごされますことをご祈念して、本日の卓話と致します。ご清聴ありがとうございました。

二 二 二 二 B O X

羽部 大仁ガバナー (札幌幌南RC)

ガバナー公式訪問

武藤 哲雄ガバナー補佐 (赤平RC)

ガバナー公式訪問に随行して。

長沢 祐純地区幹事 (札幌幌南RC)

公式訪問で、羽部ガバナー・武藤ガバナー補佐と共に出席して。

三品 優次会員

羽部ガバナー・武藤ガバナー補佐・長沢地区幹事、有難うございました。

宇山 昌宏会員

羽部ガバナーをお迎えして。

深澤 和範会員

公式訪問、羽部ガバナー・武藤ガバナー補佐・長沢地区幹事、有難うございました。

神部 洋史会員

羽部ガバナーをお迎えして。ご健康にお気をつけて残り8ヵ月を頑張ってください。

渡邊 恭久会員

羽部ガバナーのご来訪を歓迎して。

会長／三品 優次

幹事／深澤 和範

編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp

ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。